

事業所名

児童発達支援施設「ざくろの樹」

支援プログラム

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念	豊かに伸びていく可能性を秘めている子どもたちが [今]を最も人間らしく生き続け、希望に満ちた未来を培う創造力と生きる力を育み 子どもたちの最善の権益と安全を擁護する						
支援方針	「明るく たくましく 人を思い遣る心」を育む						
営業時間	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	集団生活の中で健康・安全な生活習慣を確立すること、積極的で情緒豊かな社会性を養うことなどを重点とし、方針としている『明るく たくましく 人を思い遣る心』を育むと共に、優しい心を育ててお子さんの心身の発達を促すよう働きかけていきます。					
	運動・感覚	体操あそびによる運動を取り入れた療育や、製作などの主活動では脳の機能的な発達を促すだけでなく、実際に体を動かしたり手先を上手に使うことにより刺激を受け、発達を促すことで筋肉など身体的な発達も促されます。また、身体感覚やコミュニケーション能力の向上を計り、身体と心の発達を促します。					
	認知・行動	音楽の持つリラックス効果やコミュニケーション能力を引き出す効果を利用することで、心身の障がいの改善や生活の質の向上を計ります。 また、子どもたちにとって、音楽は親しみをもちやすく、本人に聴く気がなくても耳に入り、楽器の音や触り心地、リズムに合わせて動くことに興味を持つことで、療育の効果を促します。リズム感を養うことで、運動機能を更に高めたり、発語の促進も期待できます。					
	言語 コミュニケーション	連携する保育園での活動や行事参加を経験する中で、お友達との関り方・言葉（発語）・コミュニケーション能力と発達を促しながら、子どもたちにゆっくりと働きかけていきます。					
	人間関係 社会性	一人ひとりの発達状況や個性をふまえながら、集団生活の中でそのお子さんの成長を応援できるように配慮した保育と療育を行い、障がいを持つお子さんも、ないお子さんもお互いに認め合い、楽しく生活できる環境を整えながら、社会性を身につけていけるよう働きかけていきます。					
家族支援	お子さんの成長・発達のために、保護者の方・関係機関との連絡と連携を密にし、子育ての喜びや悩みを共有しあいながら協力して、より良い保育・療育をしていきたいと考えています。				移行支援	卒所し小学校や放課後等デイサービスに移行する際、または転居等で他所を利用する際は、自治体や関係機関と情報を共有し、スムーズな移行が出来るよう配慮しています。	
地域支援・地域連携	地域や学区で行う行事や、連携する保育園での行事や地域行事、施設見学等に参加し、社会に参画する意欲と周りへの理解を深めています。				職員の質の向上	療育センターやその他関連機関の研修、及び保育園内での研修や管轄する自治体の研修に参加し研鑽に努めることと、他機関・保育園との連携・共通意識を深めて子どもたちとの関り方を考えています。	
主な行事等	児童発達支援施設としての行事は、主にあけぼの保育園との年間行事に準じて参加できるよう行っています。独自で行う行事は、秋に「作品展」を実施し、保護者の方に作品を観て頂きながら製作過程の様子を伝え、懇談会を行っています。						

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援施設「ざくろの樹」		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人運営の保育園との交流がある 体操教室・リトミックなどの取組み	家庭では経験できないことを製作や主活動に取り入れている	左記の更なる充実を図る為、保育園職員との会議の中でも計画を見直している
2	事業所の職員のみならず、同法人の保育園職員とも情報共有し個別支援をしている	季節・文化を体感できる支援プログラム	左記の更なる充実を図る為、保育園職員との会議の中でも計画を見直している

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準数以外の職員配置増	様々な研修の周知は行っているが、体制上参加が無理な場合が多い	左記の更なる充実を図る為、専門的・実践的な経験と知識を持った職員の採用
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援施設 さくらの樹

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		1	2階もあり広くて走れるスペースもあり楽しそう。 入所間もないため分からないことが多い。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	安心してお願いできる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					家で過ごしているような清潔さ・安心さを感じる。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					複数のプログラムがある。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12				3	運動活動であけぼの保育園に連れていってもらい、色々な子と接する機会がある。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				1	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13		1		1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9				6	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					昼寝の時間や食べられたものを教えてくれてありがたい。 迎える度にその日したことを伝えていただいている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	4			1	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	7		4	交流の場を作ってほしい。 今後の検討課題といたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				何かある時は相談させてもらったり、変更等もすぐに対応していただいている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			4	連絡帳にその日の内容や写真もついているので嬉しい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			10		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	3		1	カレンダーを指さし楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				自宅ではできない遊びができて楽しそう。とても満足。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援施設 ざくろの樹				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自の保育・療育計画を作成している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		対象学区での幼保小連絡会にて伝達を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		連絡帳やその日の生活を伝え、必要な場合には助言及び支援している		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	時代の流れにより、保護者会等の参画は行っていない	作品展の会場で保護者同士、交流できるようにしている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを通じて発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	感染症等の観点から行っていない	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者への周知はしていない	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	保護者への説明は行っていない	